

麴布の洗浄前の殺菌に [シンヨー ピーエーエー]

過酢酸製剤

SHINYO PAA のご紹介

水や熱湯でしっかり洗ったつもりの麴布… 実は、菌が残っている場合があります

出麴後



【A 社洗浄方法】

和釜の熱湯（64℃）
10 分浸漬
同じ熱湯で 2 回すすぎ

洗浄後



【B 社洗浄方法】

熱湯（80℃）
5 分浸漬・攪拌
冷水でリンス 1 回



麴布に生き残った菌は、次の麴造りで増殖し、麴の汚染リスクを高め、大切なお酒や甘酒の品質に悪影響を及ぼすことが懸念されます。

確実に菌を殺すためには、麴布を洗浄する際、

殺菌と**洗浄**を分ける必要があると考えます。

そこで従来の洗浄方法の前に **SHINYO PAA** をご提案！

使い方

温水
60℃以上



SHINYO PAA
200 ～ 400 倍希釈



いつも通り洗うだけ！

※井水で洗浄・すすぎを行う場合は、井水中の一般細菌数をご確認ください。

10 分浸漬

【使用例】 蒸しの終わった和釜のお湯で **SHINYO PAA** を 200 ～ 400 倍に薄めた後、使用した麴布を 10 分程度浸漬します。
(20L の薬液をつくる場合、**SHINYO PAA** 原液を 50mL (400 倍) ～ 100mL (200 倍) 使用)

こんなにたくさん生えていた菌も…



たった 10 分
浸漬しただけで
この効果！

SHINYO PAA（過酢酸製剤）の主な特徴

SHINYO PAA は、過酢酸を含有する食品関連の容器、製造機器類にご利用いただける液体の酸性除菌剤です。

- 過酢酸製剤は、現在知られている殺菌剤の中で最も強力な殺菌剤の一つ

医療機器の殺菌、クリーンルーム管理、飲料工場のCIP殺菌にも使用されています。

- カビ、酵母、芽胞形成菌を含む幅広い菌に対して有効
- 低濃度でも殺菌性が高い
- ステンレスやアルミに対して腐食性が極めて少ない
- 有機物が接触しても効果が落ちにくい
- 全ての成分が揮発性の為、残留性が無い
- 原液は酸っぱいニオイが強い



包装：20kg入りポリ容器

殺菌に使用する場合は、推奨濃度まで希釈をすれば、ほとんどニオイは気になりません。※個人差があります

また、殺菌後に今まで通りのリンスと乾燥を行えば、揮発性の成分の為、ニオイが残ることはほとんどありません。

殺菌力の検証

【方法】

- ① 滅菌保証用指標菌株 *Bacillus atrophaeus*（Mesa Labs 社）を、生理食塩水に懸濁し、その懸濁液に試験布片を含浸させ、乾燥させたものを汚染布とした。（汚染水菌数 4.0×10^4 cfu/mL）
- ② SHINYO PAA を 100 ～ 600 倍となるように希釈し、各濃度で 30℃～70℃（40℃省略）に昇温させた希釈液に汚染布を 10 分間浸漬させた後、乾燥させた。（対照として精製水でも同様に実施）
- ③ 汚染布を乾燥させた後、スタンプ培地にて微生物採取し 35℃で 2 日間培養した。

【結果】

左画像のとおり、本試験条件において精製水では温度を上昇させても菌数減少は確認されなかったが、温水に SHINYO PAA を少量添加（200 ～ 600 倍）することにより十分な殺菌が行えるという結果となった。

以上のことから、SHINYO PAA を 50℃以上の温水に麴布を浸漬し殺菌処理した後、従来の洗浄工程を実施することにより、麴布に残存する微生物を飛躍的に低下させることが可能であると解った。当社としては、確実な殺菌をご提案するため温水は 60℃以上、希釈倍率 200 ～ 400 倍を推奨します。

※過酢酸が、酒造現場で使用される主な布（パイレン、テロン、ナイロン）へ影響を与えないか調べたところ、布の強度には影響がないことが解った。

（新潟県工業技術総合研究所下越支援センター調べ）

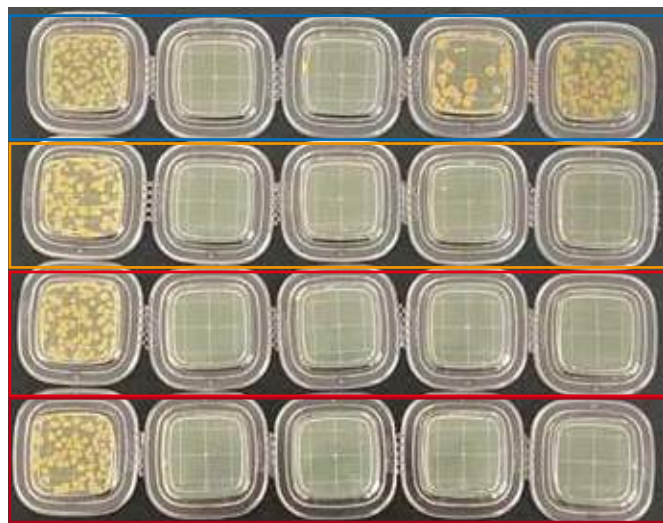
水 100 倍 200 倍 400 倍 600 倍

30℃

50℃

60℃

70℃



人を笑顔にする技術

SHINYO
Manufacturing SHINYO GIKEN KOGYO Co., Ltd.

 **新洋技研工業株式会社**

本社・工場 / 〒950-1241 新潟県新潟市南区内堀1463番地1

TEL:025-362-1611 FAX:025-362-1616

関西営業所 / 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-7-1-1205

URL: <https://www.shinyo.co.jp>

E-mail: info30@shinyo.co.jp

ホームページ



2024.04